

公法 出題の意図

問題 1

本問題は、大学の自治についてのリーディング・ケースである東大ポポロ事件判決について、判決内容の正確な理解をもとめ、判決文中には直接触れられていない事情も考慮した上で、大学の自治をどう考えるかを問うものである。近年、類似の事件が現実社会においても起こっており、法曹を目指すのであればそうした社会における事件やニュースにも敏感であることが求められる。

問題 2

取消訴訟の原告適格に関する基本的知識を前提に、これを具体的な法令の規定と事実関係に対して運用する能力を試すものである。これにより、行政法の基本的知識に対する理解度の深さが測られる。診療所の周囲 100 メートルや第一種低層住居専用地域が風俗営業の制限地域とされている趣旨は何か、そこに個々人の具体的利益を保護する趣旨が含まれるか等について、条文の定め方を丁寧に検討することが求められる。

私法 出題の意図

問題 1

代理権の濫用と表見代理についての基本的な知識を見る問題である。

問題 2

仮装払込みの効力と仮装払込みによる募集株式発行の効力に関する問題である。その論述により、会社法上の重要な問題に関する基本的知識の修得度および論理的思考能力が試されることになる。

刑法 出題の意図

犯人自身による犯人隠避教唆罪の成否に関する基本的な理解を問う問題である。

刑法 103 条が自己隠避を不可罰としていることとの関係を適切な論理で記述できているかが重要となる。